

第 28 回日本大脳基底核研究会プログラム

7月21日(土) 会場：研修センター2F 研修室 No.1・2

開会の辞 13:00～

■教育講演 1 13:05～14:05

座長：高田 昌彦（京都大学）

DecNef を用いて脳活動から心への因果関係を明らかにする

川人 光男（ATR 脳情報研究所）

■シンポジウム 1『島は何をしているのか？』 14:05～16:15

座長：長谷川 一子（相模原病院）

1. 島皮質と共感および社会的意思決定について

加藤 元一郎（慶應義塾大学）

2. 島は何をしているか？—神経内科での経験から—

福武 敏夫（亀田メディカルセンター）

=== 休憩(10分) ===

3. 島皮質—神経病理の立場から—

村山 繁雄（東京都健康長寿医療センター研究所）

4. 脳腸相関と情動にかかわる島

福土 審（東北大学）

=== コーヒーブレイク(15分) ===

■一般演題 1 16:15～18:00

座長：小林 和人（福島県立医科大学）、南部 篤（生理学研究所）

1. 線条体における吸入麻酔薬導入期の興奮作用

○三浦 正巳¹、大瀬 善之²、安藤 望²、井上 律子¹、青崎 敏彦¹、西村 欣也²
(東京都健康長寿医療センター研究所・神経生理¹、順天堂大・麻酔科²)

2. 線条体淡蒼球路を介する聴覚性弁別学習の制御

○西澤 佳代¹、深堀 良二¹、岡田 佳奈²、内ヶ島 基政³、渡辺 雅彦³、塩田 明⁴、
上田 正次⁴、筒井 雄二⁵、小林 和人¹
(福島医大・医・生体機能¹、広大・総合・行動科学²、北大・医・解剖発生³、
株フェニックスバイオ⁴、福大・共生理工・人間支援⁵)

3. 認知的行動制御における前頭葉-大脳基底核連関

○星 英司¹、中山 義久¹、山形 朋子¹、有村 奈利子¹、丹治 順²
(東京都医学総合研究所・前頭葉機能プロジェクト¹、東北大学脳科学センター²)

4. 報酬文脈と視覚刺激の顕著性のドーパミン活動に及ぼす影響

小林 俊輔^{1,2}、Wolfram Schultz²
(福島県立医大神経内科¹ Dept. Physiology, Development, and Neuroscience, Univ.
Cambridge, UK²)

5. 予測報酬比較による認知的な選択時の線条体神経活動

鮫島 和行^{1,2}、野々村 聡¹、加藤 康広¹、銅谷 賢治³、丹治 順⁴
(玉川大学脳科学研究所¹、大学院脳情報専攻²、沖縄科学技術大学院大学³、東
北大学 脳科学センター⁴)

6. 小脳入力と大脳基底核入力の視床-大脳皮質投射への作用

○知見 聡美^{1,4}、川口 泰雄^{2,4}、木村 實³、南部 篤^{1,4}
(生理研・生体システム¹、生理研・大脳神経回路論²、玉川大・脳科学研究所³、
総研大・生理科学⁴)

=== 休憩・移動(30分) ===

懇親会 サンパティックホール 2F 洋風宴会場

18:30~20:00

=== 休憩・移動(10分) ===

■一般演題 1

20:10~22:55

座長： 平 孝臣（東京女子医科大学）、横地 房子（都立神経病院）

7. 網様体脊髄路-脊髄介在ニューロン系における筋緊張制御の仕組み

○高草木 薫^{1,2}
(旭川医大・脳機能医工学研究センター¹、東京大・工学系研究科・精密工学²)

8. 黒質線条体ドパミン・ニューロンは一種ではない

○瀬川 昌也
(瀬川小児神経学クリニック)

9. 黒質・淡蒼球に鉄沈着をきたす NBIA の新たな 1 型 : SENDA の
原因遺伝子同定と病態

○村松 一洋¹、澤浦 法子¹、熊田 聡子²、須貝 研司³、龍神 布紀子⁴、西田 裕哉⁵、西村 多喜⁶、水島 昇⁶、才津 浩智⁷、松本 直通⁷
(群馬大・小児¹、都神経病院・小児神経²、精神神経セ・小児神経³、滋賀医大・小児⁴、心身障害総合セ・小児⁵、東京大・細胞生物⁶、横浜市大・遺伝学⁷)

10. Static encephalopathy of childhood with neurodegeneration in adulthood (SENDA) :
オートファジー遺伝子異常の証明された一症例

○熊田 聡子¹、才津 浩智²、柳下 章³、内野 俊平¹、星野 愛¹、八谷 靖夫¹、栗原 栄二¹、松本 直通²
(東京都立神経病院神経小児科¹、横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²、東京都立神経病院神経放射線科³)

11. X-linked dystonia-parkinsonism (DYT3)患者の淡蒼球細胞活動について

○濱田 幸一¹ 横地 房子² 谷口 真¹ 川崎 隆¹ 沖山 亮一² 磯尾 綾子¹
(東京都立神経病院脳神経外科¹ 東京都立神経病院脳神経内科²)

12. 全身の異常運動にまで進展した舌突出症の一例

三枝 英人、山口 智、小町 太郎、門園 修、伊藤 裕之
(日本医科大学耳鼻咽喉科学教室)

■ビデオセッション

1. 5才発症の局所性ジストニアの女児例

○久保田 雅也、柏井 洋文、寺嶋 宙、柴田 明子、渡辺 優、山本 真梨子
(国立成育医療研究センター神経内科)

2. ジストニアを中核症状とする両側線条体壊死の 1 家系

○三木 康生 (現弘前大学神経病理) 今 智矢 船水 章央 上野 達哉 羽賀 理恵 鈴木 千尋 西 崑 春生 新井 陽 鈴木 千恵子 馬場 正之 富山 誠彦 栗原 愛一郎 (青森労災病院) 後藤 雄一 (国立精神・神経医療研究センター)

3. 島回神経膠腫症例における摘出術中および術前後に呈する神経症状の傾向
丸山 隆志^{1,2}、仁木 千晴²、村垣 善浩^{1,2}、新田 雅之¹、伊関 洋^{1,2}、熊田 孝恒³、
岡田 芳和¹
(東京女子医科大学脳神経外科¹ 東京女子医科大学大学院 先端生命医科学研究
所² 京都大学情報学研究科 知能情報学専攻³)
4. 末梢外傷後に生じた不随意運動とその治療(Peripheral injury induced movement disorders)
○平 孝臣、竹田 信彦、光山 哲滝、後藤 真一
(東京女子医科大学 脳神経外科)
5. 海綿状血管腫に伴って出現した hemichorea の自然経過
○横地房子¹、谷口 真²
(東京都立神経病院 脳神経内科¹、脳神経外科²)

7月21日(日) 会場：研修センター2F 研修室 No.1・2

■教育講演 2

8:30～9:30

座長： 谷口 真 (東京都立神経病院)

人での神経可塑性の誘導とパーキンソン病での異常

宇川 義一 (福島県立医科大学)

■シンポジウム 2 『歩行と空間認知』

9:30～11:10

座長： 中野 今治 (東京都立神経病院)

1. ダンスがパーキンソン病の姿勢・歩行制御にもたらす影響についての考察

花川 隆 (国立精神・神経医療研究センター)

2. 頭頂葉の機能－空間認知を中心に－

武田 克彦 (国際医療福祉大学三田病院)

=== コーヒーブレイク(10分) ===

3. 頭頂葉と前頭葉の機能連関と行動

河村 満 (昭和大学)

座長： 高草木 薫 (旭川医科大学)

1. セピアプテリン還元酵素欠損による運動機能障害の解析

本間 大悟¹、久保田 光¹、高草木 薫²、○一瀬 宏¹

(東京工業大学大学院生命理工学研究科¹、旭川医科大学・脳機能医工学研究センター²)

2. レボドパ誘発ジスキネジアモデル 運動皮質神経細胞の電気生理学的検討

○富山 誠彦 上野 達哉 西嶋 春生 船水 章央

(青森県立中央病院)

3. マカクザルにおけるアルファシヌクレイン発現ニューロンの加齢による分布様式の変化

○木村 活生^{1,2}、井上 謙一¹、田中 章景²、高田 昌彦¹

(京都大・霊長研・統合脳システム¹、横浜市大・神経内科²)